

社会資本総合整備計画

松川地区都市再生整備計画事業

平成 28 年 9 月 9 日

長野県松川町

社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成28年9月9日

計画の名称	1 松川地区都市再生整備計画事業										重点配分対象の該当																					
計画の期間	平成24年度～平成29年度（6年間）					交付対象	松川町																									
計画の目標	テーマ「水と緑と太陽のまち まつかわ」 目標1：町民が安心して子どもを生み、育てることができるまちづくりを推進します。 目標2：「くだもの里まつかわ」の特徴を生かした観光産業の振興を図ります。																															
計画の成果目標（定量的指標）	1. 子育て教育環境を充実させることにより、社会教育団体台帳へ登録されている団体のクラブ員（中学生以下のこどもの人数）数を維持します。 2. 観光産業の振興を推進することにより、観光利用者数を維持します。																															
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値</th> </tr> <tr> <th>(H24当初)</th> <th>(H26末)</th> <th>(H29末)</th> </tr> <tr> <td>当該年度の社会教育団体台帳へ登録されている団体のクラブ員（中学生以下のこどもの人数）数</td> <td>706</td> <td>700</td> <td>700</td> <td></td> </tr> <tr> <td>観光利用者統計調査における観光人口</td> <td>2,490</td> <td>2,490</td> <td>2,490</td> <td></td> </tr> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値	中間目標値	最終目標値	(H24当初)	(H26末)	(H29末)	当該年度の社会教育団体台帳へ登録されている団体のクラブ員（中学生以下のこどもの人数）数	706	700	700		観光利用者統計調査における観光人口	2,490	2,490	2,490	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																												
	当初現況値	中間目標値	最終目標値																													
	(H24当初)	(H26末)	(H29末)																													
当該年度の社会教育団体台帳へ登録されている団体のクラブ員（中学生以下のこどもの人数）数	706	700	700																													
観光利用者統計調査における観光人口	2,490	2,490	2,490																													
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1685.7百万円	A	1685.7百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0%																				
交付対象事業																																
A 基幹事業																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考															
									H24・H25	H26	H27	H28	H29																			
1-A-1	都市再生	一般	松川町	直接	松川町	町道神護原線他		松川町						1,685.7																		
合計												1,685.7																				
B 関連社会資本整備事業																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考															
									H24・H25	H26	H27	H28	H29																			
合計																																
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																				
C 効果促進事業																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																	
									H24・H25	H26	H27	H28	H29																			
合計																																
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																				
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																	
									H24・H25	H26	H27	H28	H29																			
合計																																
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																				

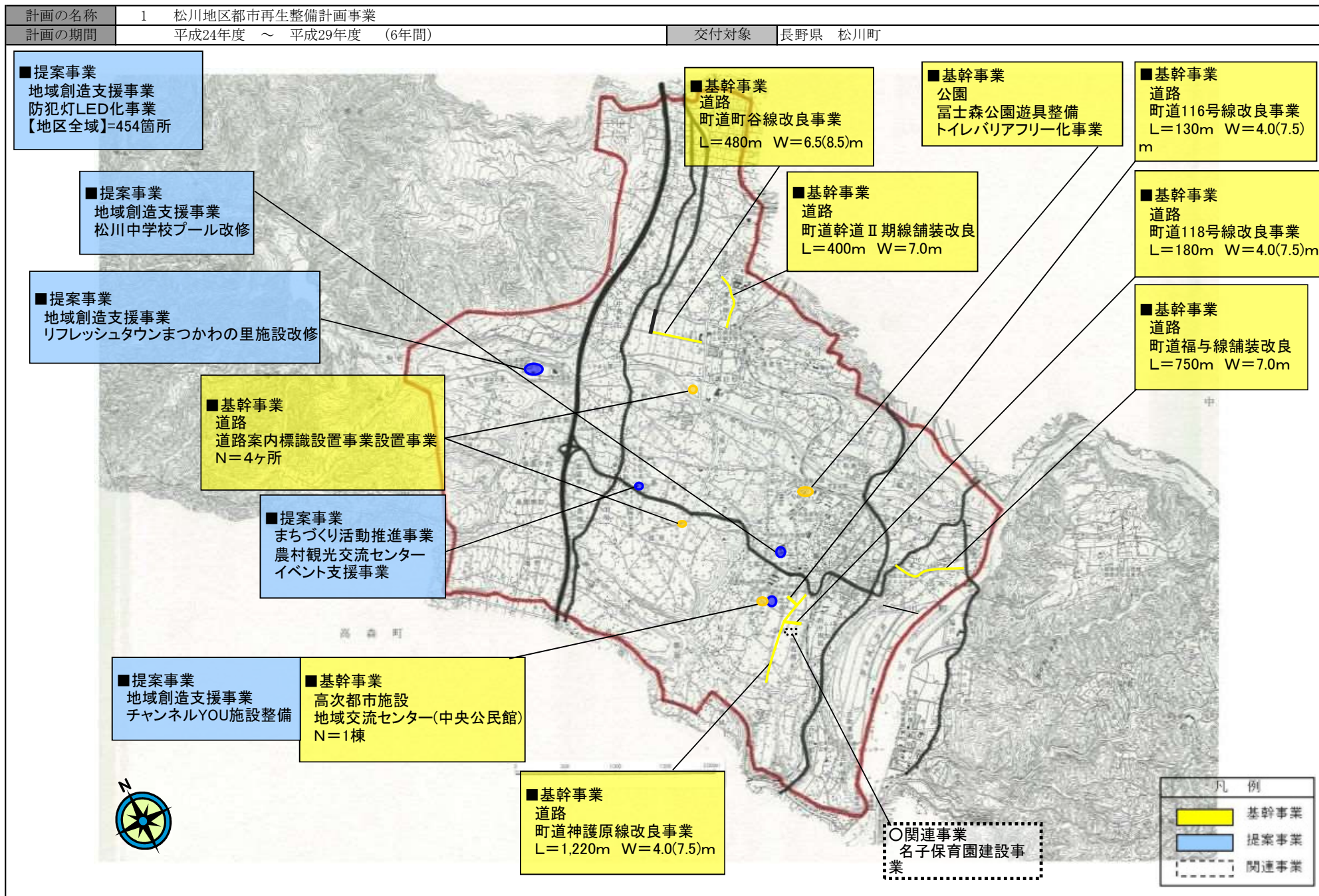
交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	184.7	130.7	222.5		
計画別流用 増△減額 (b)	△ 69.0	0	0		
交付額 (c=a+b)	115.7	130.7	222.5		
前年度からの繰越額 (d)	21.588	72.6	14.0		
支払済額 (e)	64.688	189.3	130.5		
翌年度繰越額 (f)	72.6	14.0	106.0		
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0.0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0.0		
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0%	0%	0.0%		
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由					

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考図面) 市街地整備



社会資本総合整備計画の添付書類等

交付対象事業別概要

まつかわ ちく とし 松川地区都市再生整備計画 ながのけん まつかわまち (長野県松川町)

(参考)年次計画

(事業費:百万円)

基幹事業									
事業名	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
道路	神護原線	松川町	483.6	119.2	89.4	115.0	80.0	20.0	60.0
道路	116号線	松川町	30.0					30.0	
道路	118号線	松川町	31.6		31.6				
道路	福与線	松川町	31.5	31.5					
道路	幹道Ⅱ期線	松川町	11.6		11.6				
道路	町谷線	松川町	130.0				50.0	10.0	70.0
道路	道路標識案内	松川町	10.2		10.2				
公園	富士森公園	松川町	7.1		5.5				1.6
公園	富士森公園	松川町	8.0						8.0
高次都市施設	地域交流センター(中央公民館)	松川町	682.2		12.7		260.4	409.1	
地域創造支援事業	防犯灯LED化事業	松川町	14.0	7.4	6.6				
地域創造支援事業	松川中学校プール改修	松川町	67.9	67.9					
地域創造支援事業	リフレッシュタウンまつかわの里施設改修	松川町	22.8	5.7	17.1				
地域創造支援事業	地域交流センター(チャンネルYOU施設併設)	(株)チャンネルYOU	121.2				54.6	66.6	
まちづくり活動推進事業	農村観光交流センターイベント支援	松川町	34.0	1.0	0.3	0.7	1.0	2.0	29.0
計			1,685.7	232.7	185.0	115.7	446.0	537.7	168.6
関連社会資本整備事業									
事業名	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成〇〇年度	平成〇〇年度	平成〇〇年度	平成〇〇年度	平成〇〇年度	平成〇〇年度
			0.0						
			0.0						
			0.0						
			0.0						
計			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
効果促進事業									
事業名	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成〇〇年度	平成〇〇年度	平成〇〇年度	平成〇〇年度	平成〇〇年度	平成〇〇年度
			0.0						
			0.0						
			0.0						
			0.0						
計			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計			1,685.7	232.7	185.0	115.7	446.0	537.7	168.6
累計進捗率 (%)				13.8%	24.8%	31.6%	58.1%	552.0%	100.0%

都市再生整備計画(第5回変更)

まつかわちく
松川地区

ながのけん まつかわまち
長野県 松川町

平成28年9月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	長野県	市町村名	松川町	地区名	松川	面積	2,073 ha
計画期間	平成 24 年度 ~ 平成 29 年度	交付期間	平成 24 年度 ~ 平成 29 年度				

目標

テーマ「水と緑と太陽のまち まつかわ」
 目標1: 町民が安心して子どもを生み、育てることができるまちづくりを推進します。
 目標2: 「くだもの里まつかわ」の特徴を生かした観光産業の振興を図ります。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

松川町は、昭和31年下伊那郡大島村と上伊那郡上片桐村が合併し、続いて昭和34年に生田村と旧高森町の一部を境界変更により編入合併し、現在の松川町となっています。
 長野県南部の下伊那郡の最北、伊那谷のほぼ中央に位置し、東西21Km、南北約6Km、総面積72.9Km²です。町の中央を天竜川が北から南へ流れ、川の東西に段丘が形成され、東側には工業団地と水田地帯が、傾斜地では、水稲、畜産、小梅の栽培などが行われています。西側は、住宅地、商店街、工業団地が開け、梨、りんごなどの果樹栽培が盛んです。
 昭和35年国勢調査人口は、12,595人(2,643世帯)でしたが、平成17年国勢調査人口では14,120人(4,197世帯)まで増加したものの、少子化等の理由から減少に転じ、平成22年国勢調査人口では、13,678人(4,271世帯)となっています。
 このような現状の中、地方分権時代の到来と厳しい財政状況を踏まえ、少子高齢化への対応や、地域産業の活性化、生活基盤の確保など山積する様々な課題に対応するため、「人の和のある地域協働のまち まつかわ」を目指し、松川町第4次総合計画(計画期間:平成18~27年度)を策定し、現在では後期基本計画(計画期間:平成23~27年度)に基づき各種施策や事業を推進しているところです。

○第1期計画では、定住しなくなるようなまちづくりを目指し、住宅団地整備や子育て教育施設の整備などに取り組んだ結果、住宅棟数は増加し人口減少の抑制を図ることができました。一方、子育て支援及び教育関連の未整備課題が存在しており、引き続き関連基盤整備の推進が期待されているところです。
 ○また、魅力と活力ある産業振興の推進として、農村観光交流センター建設やむらやま公園の整備などに取り組んだことにより、観光交流人口(地域来訪台数(松川IC)や清流苑入湯者数)の増へとつながり、くだもの里の特徴をいかした産業振興を推進させることができました。一方、景気の低迷による観光産業の落ち込みも危惧されており、引き続き魅力ある関連基盤整備が求められているとともに、農村観光交流センターを中心とした観光や産業振興施策(ソフト事業)の推進が期待されています。

課題

○子育て支援及び教育関係施設について、老朽化や機能アップなどへの住民ニーズに対応する必要があります。
 ○くだもの里まつかわの特徴である観光産業関連施設の整備が求められています。また、農村観光拠点として整備された農村観光交流センターを中心に、今後は観光や産業振興施策(ソフト事業)の推進を図る必要があります。

将来ビジョン(中長期)

○第4次松川町総合計画後期基本計画(平成23~27年度)において、子育て支援の充実及び産業振興の推進を地域振興プロジェクトとして重点政策に位置づけています。

目標を定量化する指標

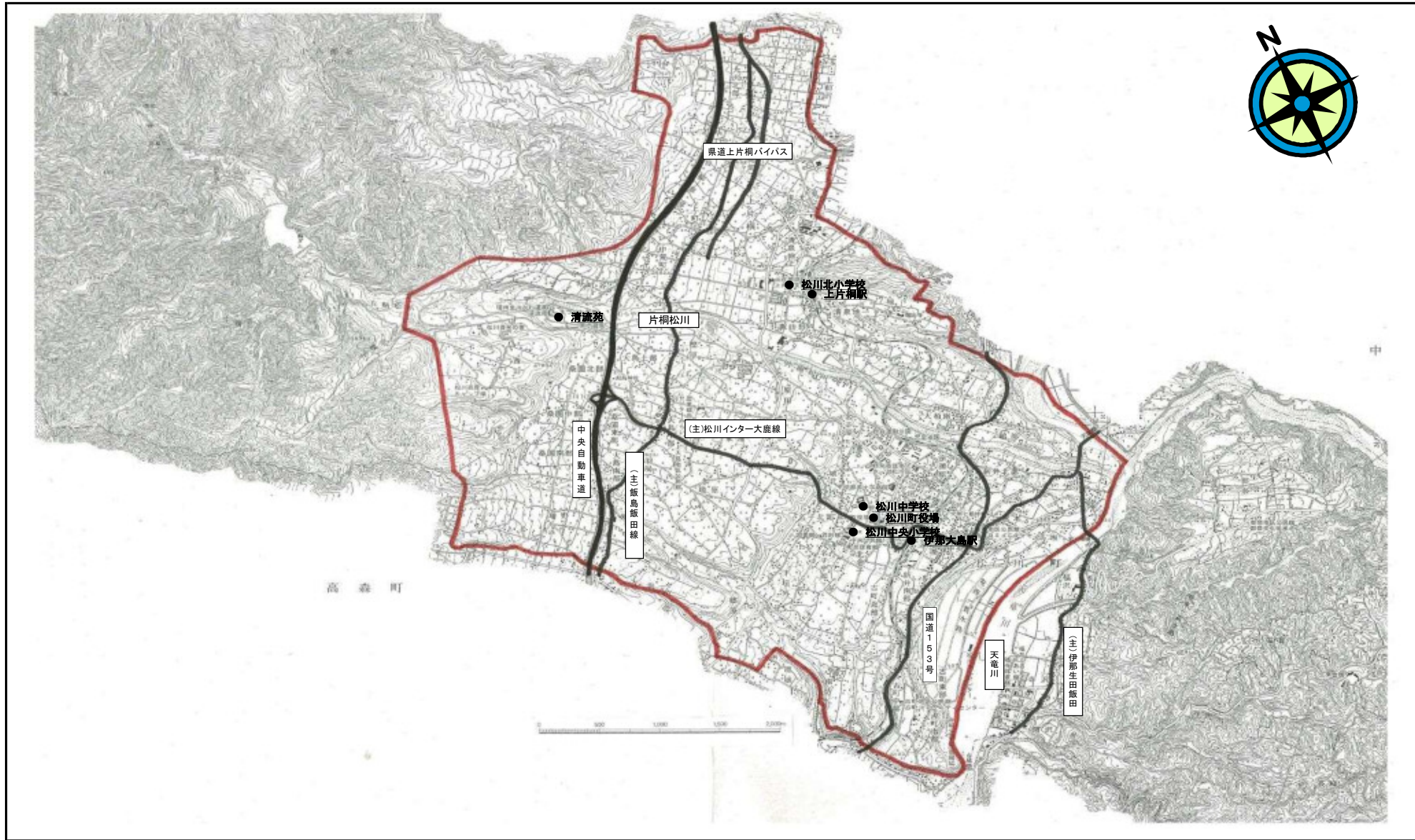
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性		目標値	
			従前値	基準年度	目標値	目標年度
社会教育団体登録児童生徒等数	人	当該年度の社会教育団体台帳へ登録されている団体のクラブ員(中学生以下のこどもの人数)数	706	23	700	29
観光人口	百人	観光利用者統計調査における観光人口	2,490	22	2,490	29

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・子育て教育環境の支援や安全な交通ネットワークの形成、身近な公園整備により、町民が安心して子どもを生み、育てることができる環境を整備します。更に地域住民の交流拠点としての中央公民館では、住民からの要望により、施設内にチャンネルYOU(ケーブルテレビ)を設置することにより、より広く情報発信を行う施設としても活用していきます。</p>	<p>(基幹事業) 道路:神護原線、116号線、118号線、福与線、幹道二期線、町谷線 公園:富士森公園遊具整備及びトイレバリアフリー化 高次都市施設:中央公民館(地域交流センター) (提案事業) 地域創造支援事業: 防犯灯LED改修 松川中学校プール改修 リフレッシュタウンまつかわの里改修 地域交流センター チャンネルYOU併設 (関連事業) 名子保育園建設事業</p>
<p>・「くだもの里まつかわ」の特徴を生かした観光産業の振興を図るため、観光施設の改修やイベント等ソフト事業の展開を支援するとともに、幹線道路環境の整備を推進します。また、およりの森 森林セラピー基地の認定に伴う施設整備を実施することにより、観光施設と一体化した事業の展開を図ります。</p>	<p>(基幹事業) 道路:福与線、幹道二期線、町谷線 (提案事業) 地域創造支援事業: 防犯灯LED改修 リフレッシュタウンまつかわの里改修 まちづくり活動推進事業: 農村観光交流センターイベント支援事業 およりの森 森林セラピー基地受付・休憩ポイント及び駐車場設置</p>
<p>・</p>	
<p>その他</p>	

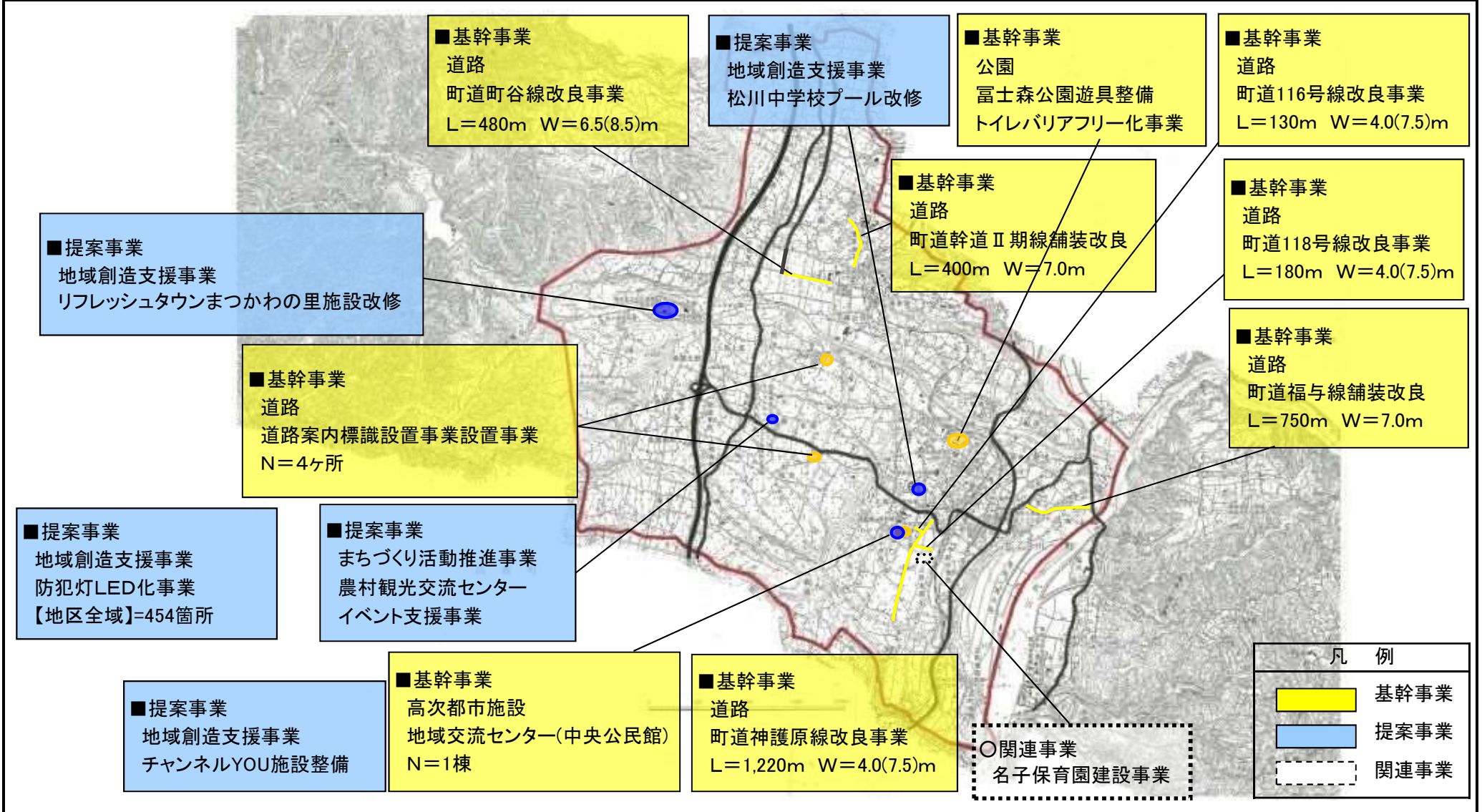
都市再生整備計画の区域

松川地区(長野県松川町)	面積	2,073 ha	区域	松川町の上片桐地区の一部、元大島地区の一部、大島地区の一部
--------------	----	----------	----	-------------------------------



松川地区(長野県松川町) 整備方針概要図

テーマ「水と緑と太陽のまち まつかわ」 目標1:「ずっと住み続けたい、住んでみたいまち」を目指し、安心して子どもを産み育てられるまちをつくります。 目標2:「くだものの里まつかわ」の特徴を生かした観光産業の振興を図ります。	代表的な 指標	生涯学習団体登録児童生徒等数(人)	706(23年度) → 700(29年度)
		観光人口(百人)	2,490(21年度) → 2,400(29年度)
		()	(年度) → (年度)

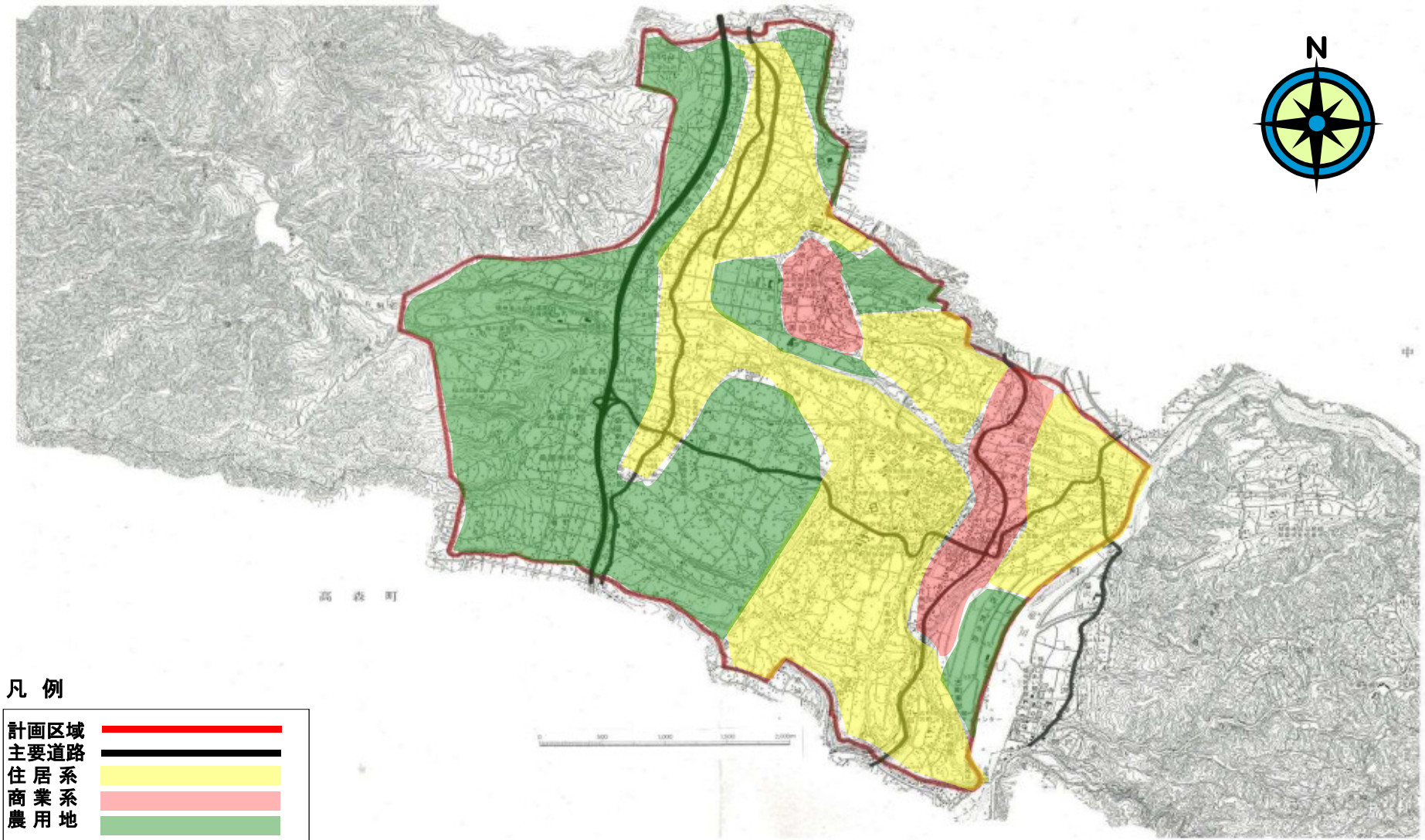
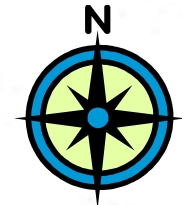


都市再生整備計画の添付書類等

交付対象事業別概要

まつかわ ちく 松川地区 ながのけん まつかわまち (長野県松川町)

松川地区(長野県松川町) 現況図



凡例

計画区域	
主要道路	
住居系	
商業系	
農用地	

交付限度額算定表(その1)

松川地区(長野県松川町)

要綱第Ⅲ編イ-10-(1)に掲げる式による交付限度額(X)	674.2 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y)	95,358.0 百万円	X ≤ Yゆえ、本計画における交付限度額	674.2 百万円
-------------------------------	-----------	-----------------------	--------------	----------------------	-----------

規則第16条第1項に基づく限度額算定

Au 8,292,000 m²

公共施設の上限整備水準

区域面積(m ²)	2,073,000	
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合	区域の面積が10ha未満の地区	0.50
	最近の国勢調査の結果による人口集中地区内	0.45
	その他の地域	0.40

Ci 0 円/m²

単位面積あたりの標準的な用地費

標準地点数	
公示価格の平均値(円/m ²)	

単位面積あたりの標準的な補償費

当該区域内の戸数密度(戸/m ²)	
標準補償費(円/戸)	44,000,000

Cf 23,000 円/m²

控除額 0 百万円

まちづくり交付金とは別に国庫補助事業等により整備する施設

施設名(事業名)	面積(m ²)	国庫補助事業費等(百万円)
合計	0	0

要綱第5に掲げる式による限度額算定

<社会資本整備総合交付金>

交付対象事業費	基幹事業(A)	1,425.8 百万円
	提案事業(B)	259.9 百万円
	合計	1,685.7 百万円

Ap 0 m²

公共施設の現況整備水準

整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定

推定現況整備水準(小数第2位まで)	
推定公共施設面積(m ²)	0

個別公共施設の積み上げ

	面積(m ²)	割合
道路	-	-
公園	-	-
広場	-	-
緑地	-	-
公共施設合計	0	0

Cnを考慮しない場合の交付限度額(Y1) 95358 百万円

ΣCn 0 円

下水道

区域面積(m ²)	2,073,000
うち現況の供用済み区域面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	3,600

地域交流センター等の公益施設(建築物) 0 円

上限床面積(m ²)	9,400
標準整備費(円/m ²)	380,000

調整池 0 円

調整池の容積(m ³)	
標準整備費(円/m ³)	140,000

河川 0 円

河川整備延長(m)	
標準整備費(円/m)	3,700,000

住宅施設 0 円

建設予定戸数(戸)	超高層		
	一般		
	合計	0	
標準整備費(円/戸)	超高層	一般	
	北海道特別地区	41,310,000	33,500,000
	北海道一般地区	38,190,000	30,990,000
	特別地区	49,120,000	35,690,000
	大都市地区	37,170,000	30,180,000
	多雪寒冷地区	41,510,000	32,370,000
	奄美地区	39,520,000	35,640,000
	沖縄地区	30,280,000	30,280,000
一般地区	33,700,000	28,640,000	

市街地再開発事業による施設建築物 0 円

施設建築物の延べ面積(m ²)	
標準共同施設整備費(円/m ²)	132,000

電線共同溝等 0 円

電線共同溝等延長(m)	
標準整備費(円/m)	680,000

人工地盤 0 円

人工地盤の延べ面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	5,300,000

協議して額を定める大規模構造物等 0 円

大規模構造物等	協議状況	整備費(円)

Cnを考慮した場合の交付限度額(Y2) 95358 百万円

[1]式	$\alpha 1=4(A+B)/5=$	1,349
[2]式	$\alpha 2=10A/9=$	1,584
	交付限度額(X)	674.2 百万円

- 要綱第Ⅲ編イ-10-(1) 3)式の適用[提案事業2割拡充]
- 平成20年度二次補正予算の執行
- 要綱第Ⅲ編イ-10-(1) 4)式の適用[中活等の45%拡充]
- 要綱第Ⅲ編イ-10-(1) 5)式・6)式の適用[リノベ事業の50%拡充]

交付限度額算定表(その2)

松川地区 (長野県松川町)

要綱第Ⅲ編イ-10-(1)に掲げる式による限度額算定(詳細)

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(百万円単位)

単位:百万円

○交付対象事業費(必ず入力) (百万円) (百万円)

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	1,425.800	A (事業費)	1)式で求まる額(4/10*(A+B))	674.280	① (国費)
	提案事業合計(B)	259.900	B (事業費)	2)式で求まる額(5/9*A)	792.111	② (国費)
	合計(A+B)	1,685.700	(事業費)	上記①、②の小さい方	674.280	③ (国費)
	提案事業割合(B/(A+B))	0.155		国費率(③÷(A+B))	0.400	④ (国費率)

○拡充の有無

以下の3つの拡充のうち、いずれかの拡充がある場合は、該当する欄に○を記入し、事業費等を入力。

・3)式の適用[提案事業2割拡充]		(選択)	⇒	3)式で求まる額(5/8*A)	0.000	⑤ (国費)
・平成20年度二次補正予算の執行		(選択)		3)式の適用後(適用がある場合は3式反映)	674.280	⑥ (国費)
・4)式の適用[中活等の45%拡充]		(選択)		3)式適用後の国費率(⑥÷(A+B))	0.400	⑦ (国費率)

○拡充がある場合の事業費等

平成20年度二次補正の執行がある場合及び4)式の適用がある場合は、以下に事業費等を入力。

平成20年度二次補正の執行がある場合	防災対象事業(A')		A' (事業費)	③をA'に置き換えた額(A⇒(A-A')+9/8*A')	674.280	⑧ (国費)
	補正予算の執行額		(国費)	⇒ 執行額を足した額	674.280	⑨ (国費)
				補正適用後(上記⑧、⑨の小さい方)	674.280	⑩ (国費)
				補正適用後の国費率(⑩÷(A+B))	0.400	⑪ (国費率)

4)式の適用を受ける場合	計画の認定等の年度末までの執行事業費(F)		F (事業費)	⇒	適用前の国費率(⑩÷(A+B))	0.400	⑫ (国費率)
	適用対象となる交付対象事業費(A''+B'')	0.000	(事業費)				
	適用対象となる基幹事業合計(A'')		A'' (事業費)	⇒	適用対象事業費から求まる限度額	0.000	⑬ (国費)
	適用対象となる提案事業合計(B'')		B'' (事業費)		適用後の国費率(⑬÷(A''+B''))	#DIV/0!	⑭ (国費率)
	適用対象事業のうち翌年度以降の執行事業費(H)		H (事業費)		4)式適用後の限度額(⑫×F+⑭×H)	#DIV/0!	⑮ (国費)

※4)式の適用を受ける場合で、経過措置を適用しない場合(H21以降新規地区)は、Fの欄を記入せず、A''、B''を記入し、A''=A、B''=B、H=A''+B''=A+Bとなる。

↓

拡充も考慮した交付限度額	674.280	⑯ (国費)
--------------	---------	--------

○交付限度額、国費率の算出

交付対象事業費(A+B)	1,685.7	(事業費)	⇒	交付要綱第5に基づく交付限度額(⑯を1万円の位を切り捨て)	674.2	⑰ (国費)
				国費率	0.400	⑱ (国費率)

様式8 年次計画

(事業費:百万円)

事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業	細項目									
道路		神護原線	松川町	483.6	119.2	89.4	115.0	80.0	20.0	60.0
道路		116号線	松川町	30.0					30.0	
道路		118号線	松川町	31.6		31.6				
道路		福与線	松川町	31.5	31.5					
道路		幹道Ⅱ期線	松川町	11.6		11.6				
道路		町谷線	松川町	130.0				50.0	10.0	70.0
道路		道路案内標識	松川町	10.2		10.2				
公園		富士森公園	松川町	7.1		5.5				1.6
公園		富士森公園	松川町	8.0						8.0
古都保存・緑地保全等事業										
河川										
下水道										
駐車場有効利用システム										
地域生活基盤施設										
高質空間形成施設										
高次都市施設		地域交流センター(中央公民館)	松川町	682.2		12.7		260.4	409.1	
中心拠点誘導施設										
連携生活拠点誘導施設										
生活拠点誘導施設										
高齢者交流拠点誘導施設										
既存建造物活用事業										
土地区画整理事業										
市街地再開発事業										
住宅街区整備事業										
バリアフリー環境整備促進事業										
優良建築物等整備事業										
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型									
	沿道等整備型									
	密集住宅市街地整備型									
	耐震改修促進型									
街なみ環境整備事業										
住宅地区改良事業等										
都心共同住宅供給事業										
公営住宅等整備										
都市再生住宅等整備										
防災街区整備事業										
計				1,425.8	150.7	161.0	115.0	390.4	469.1	139.6
提案事業										
事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業	細項目									
地域創造 支援事業	防犯灯	LED化事業	松川町	14.0	7.4	6.6				
	松川中学校	プール改修	松川町	67.9	67.9					
	リフレッシュタウンまつかわの里	施設改修	松川町	22.8	5.7	17.1				
	地域交流センター	チャンネルYOU施設併設	㈱チャンネルYOU	121.2				54.6	66.6	
	およりの森 森林セラピー基地	受付・休憩ポイント及び駐車場設置	松川町	0.0						
事業活用 調査				0.0						
まちづくり活動 推進事業				0.0						
	農村観光交流センター	イベント支援事業	松川町	34.0	1.0	0.3	0.7	1.0	2.0	29.0
計				259.9	82.0	24.0	0.7	55.6	68.6	29.0
合計				1,685.7	232.7	185.0	115.7	446.0	537.7	168.6
累計進捗率 (%)					13.8%	24.8%	31.6%	58.1%	90.0%	100.0%

(参考)都市機能立地支援関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
合計			0	0	0	0	0	0	0
累計進捗率 (%)				#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

道路

都市計画道路名 又はその他道路名	区間	道路 区分 <small>注1)</small>	事業 主体	事業 手法 <small>注2)</small>	工種	延長 m	幅員		整備後 車線数 車線	歩道 幅員 m	まち交 事業費 百万円	まち交における 事業期間 (年度)	事業内容 <small>注3)</small>	都市計画 決定 年月	備 考 <small>注4)</small>
							整備前 m	整備 m							
<道路>				-											
神護原線	名子中部	地	町	-	拡幅	1,220	5.0	7.5	1.5	2.0	483.6	24-29	道路幅員拡幅改良	-	
116号線	北名子	地	町	-	拡幅	130	2.5	7.5	1.5	2.0	30.0	28	道路幅員拡幅改良	-	
118号線	北名子	地	町	-	拡幅	180	2.5	7.5	1.5	2.0	31.6	25	道路幅員拡幅改良	-	
福与線	馬坂	地	町	-	舗装	750	6.75	6.75	2	2.0	31.5	24	舗装改良	-	
幹道Ⅱ期線	清泉地上	地	町	-	舗装	400	6.5	6.5	2	2.0	11.6	25	舗装改良	-	
東原線	東浦	地	町	-	標識	4箇所	-	-	-	-	10.2	25	道路案内標識	-	
町谷線	町谷	地	町	-	拡幅	480	6.5	8.5	2	2.0	130.0	27-29	歩道設置	-	

(参考)

<関連事業>															

* 本調書にはア)交付対象事業「道路」(街路、地方道、国道、その他)、イ)関連事業道路のすべてを記載すること。

注1) <道路>については、街、地、国、他の別を記載。

<関連事業>については、国、主、一、市の別を記載。

ただし、街：街路、地：地方道(市町村道)、国：国道、主：主要地方道、一：一般都道府県道、市：市町村道、他：いずれにも該当しないもの

注2) <関連事業>について通、交、地特、単独、促の別等を記載。補足説明すべき点は備考欄に説明を記載。

注3) 施設の構造、工法、及び地方道事業においては細工種、街路事業においては沿道区画整理型街路事業等の事業名

注4) 備考には現在の道路状況を把握するために必要なその他の事項で、交通量(人/日)、混雑度等を記載

(例)・道路改築：交通量(人/日)、混雑度等

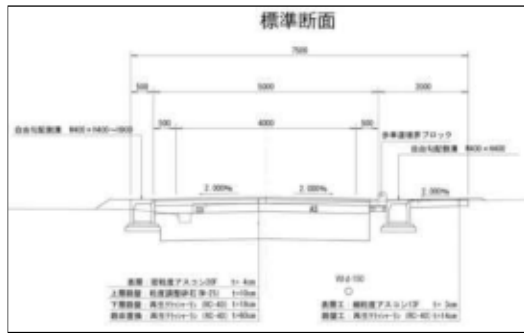
・自転車駐車場：都市計画決定の有無、面積、利用台数等

* 交付対象事業「道路」を「身近なまちづくり支援街路事業」等のいわゆるグレードアップ事業として実施する場合は、それらの計画様式を次頁以降に添付すること。

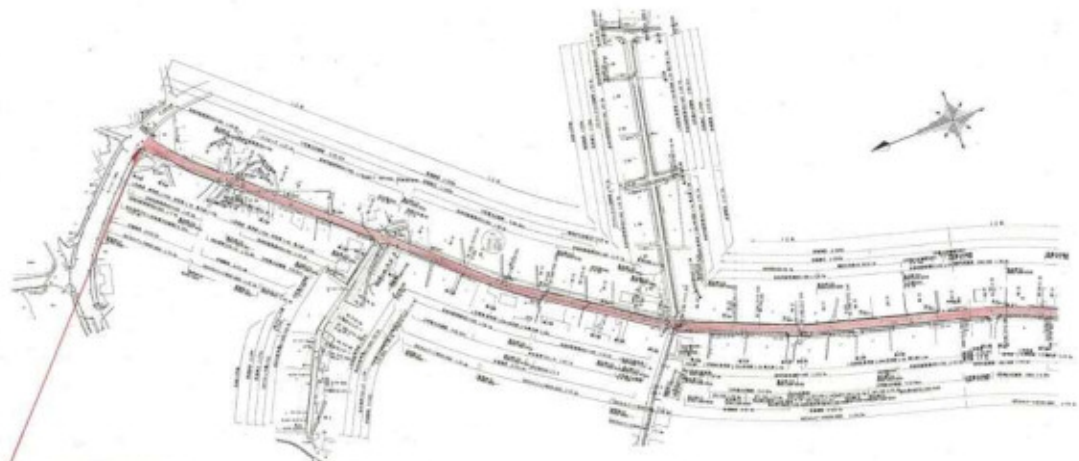
* 不足する場合は適宜行を追加すること

道路事業 町道神護原線 平面図

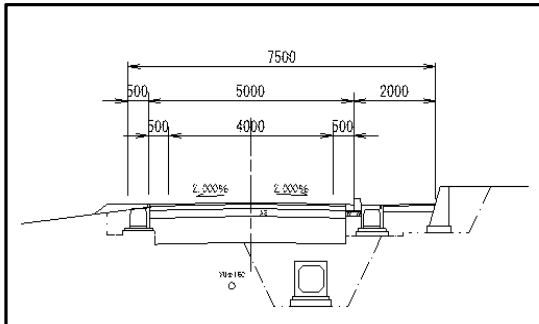
延長 1,220m 幅員 4.0(7.5)m



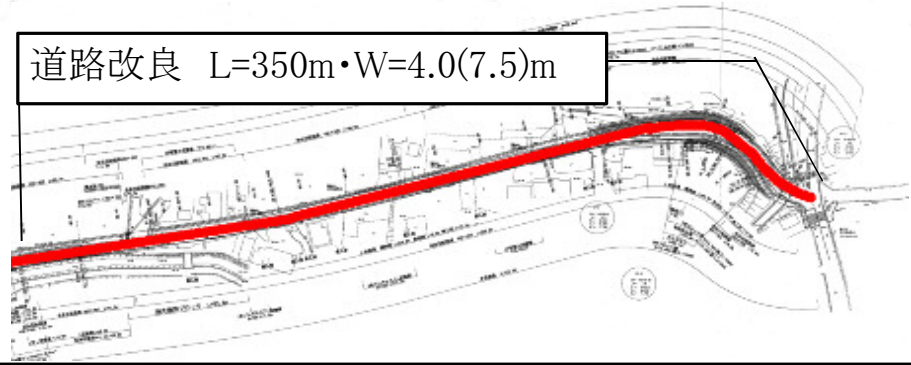
起点より



終点より



道路改良 L=350m・W=4.0(7.5)m

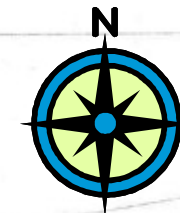
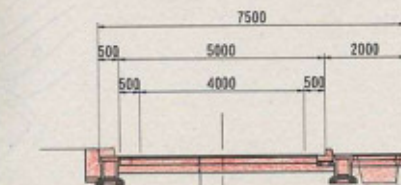


道路事業 町道118号線 平面図

延長 180m

幅員 4.0(7.5)m

標準断面図



町道118号線 道路改良 L=180m W=4.0(7.5)m

起点より



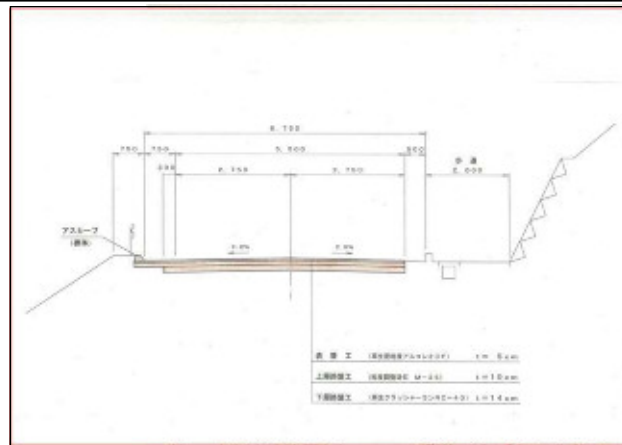
終点より



道路事業 町道福与線 平面図

延長 750m

幅員 6.75m



終点より



舗装現況



起点より



道路事業 町道幹道Ⅱ期線 平面図

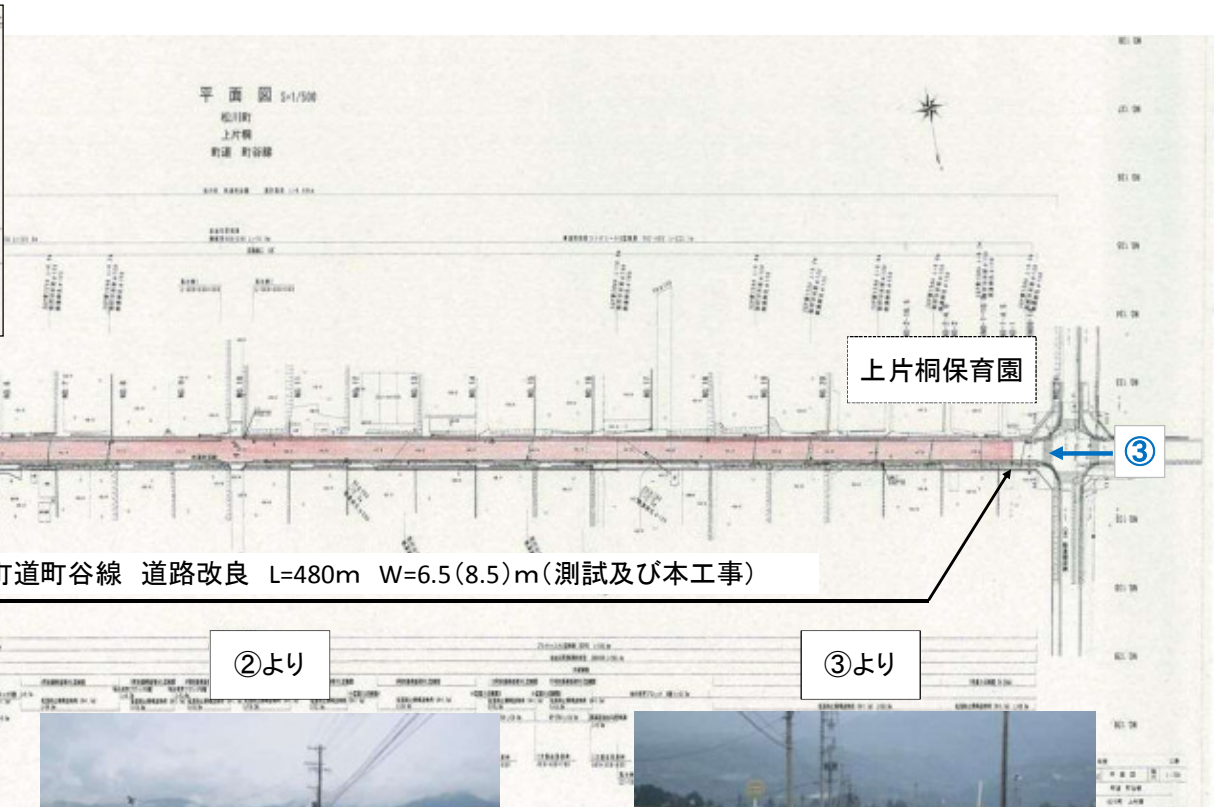
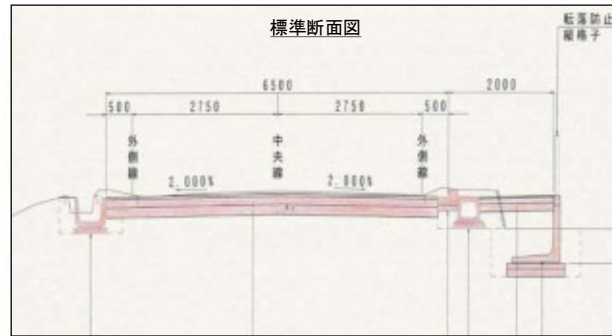
延長 400m

幅員 6.5m



道路事業 町道町谷線 平面図

規模 480m



①

②

③

①より

②より

③より





公園(都市公園補助事業採択要件外)

公園等名(*1)	種別等(*2)	事業主体(*3)	概要(面積(m ²)等) (*4)	交付期間内 事業費(百万円)	交付期間内事業費内訳			備考(*5)
					設計費 (百万円)	用地費 (百万円)	施設整備費 (百万円)	
富士森公園	街区公園	松川町	5,298m ²	15.1			15.1	遊具整備、トイレ水洗化
合計	—	—	—	15.1	0	0	15.1	—

*1 公園等名ごとに1行ずつ記入。足りない場合は、適宜行を追加すること。

*2 「種別等」欄には、都市公園の種別である「街区公園」、「近隣公園」、「地区公園」、「特定地区公園」、「総合公園」、「運動公園」、「動植物公園」、「歴史公園」、「広域公園」、「レクリエーション都市」、「風致公園」、「墓園」、「緩衝緑地」、「都市緑地」、「緑道」のいずれかを記入。

都市公園でない場合は「無」を記入し、「概要(面積等)」欄に制度上の位置付け(条例設置公園等)を簡潔に記載。

*3 「事業主体」欄には、事業の施行者を記入。(間接交付の場合は、交付金事業者ではなく、「第三セクター」等の施行者を記入。)

*4 「概要(面積(m²)等)」欄には、都市公園でない場合に公園としての制度上の位置づけを記入する他、計画面積(単位:m²)等を記入すること。

*5 「備考」欄には整備する主な施設(園路、植栽、あずまや、体験学習施設等)を簡潔に記載。

*6 青色で着色してあるセルは自動計算されるので入力しないこと。

遊具整備

設置箇所の現況



イメージ図



健康遊具

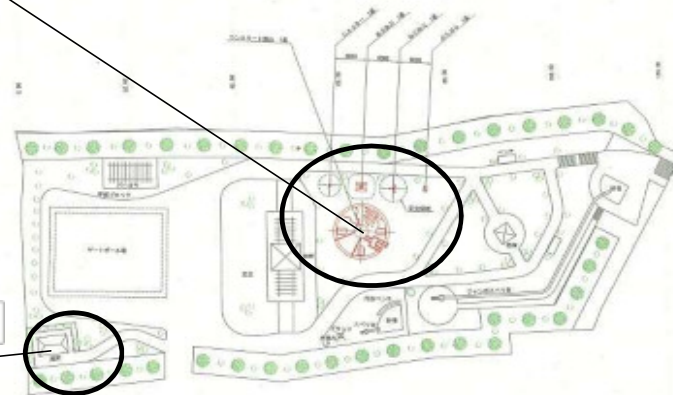
幼児用遊具

[富士森公園遊具整備]

○幼児用遊具、健康遊具

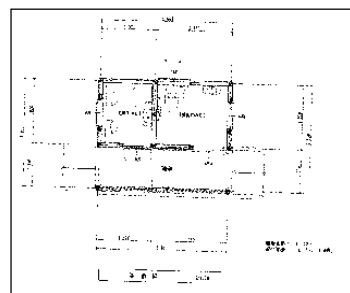
都市公園である本公園は親子の利用が多くあり、幼児用遊具、健康遊具を整備するこ

全体平面図



トイレバリアフリー化

設置箇所の現況



[富士森公園トイレバリアフリー化]

○トイレバリアフリー化

車いすが使われている方も安心して利用できるよう、床をフラット化し、入り口を広くします。都市公園である本公園を、衛生面からも安心して子育てできる環境を整備します。

立面図



平面図

1F



2F



3F



[地域交流センター(中央公民館)]

N=1棟

1F 888.13㎡

2F 790.88㎡

3F 343.60㎡

計 1,992.61㎡

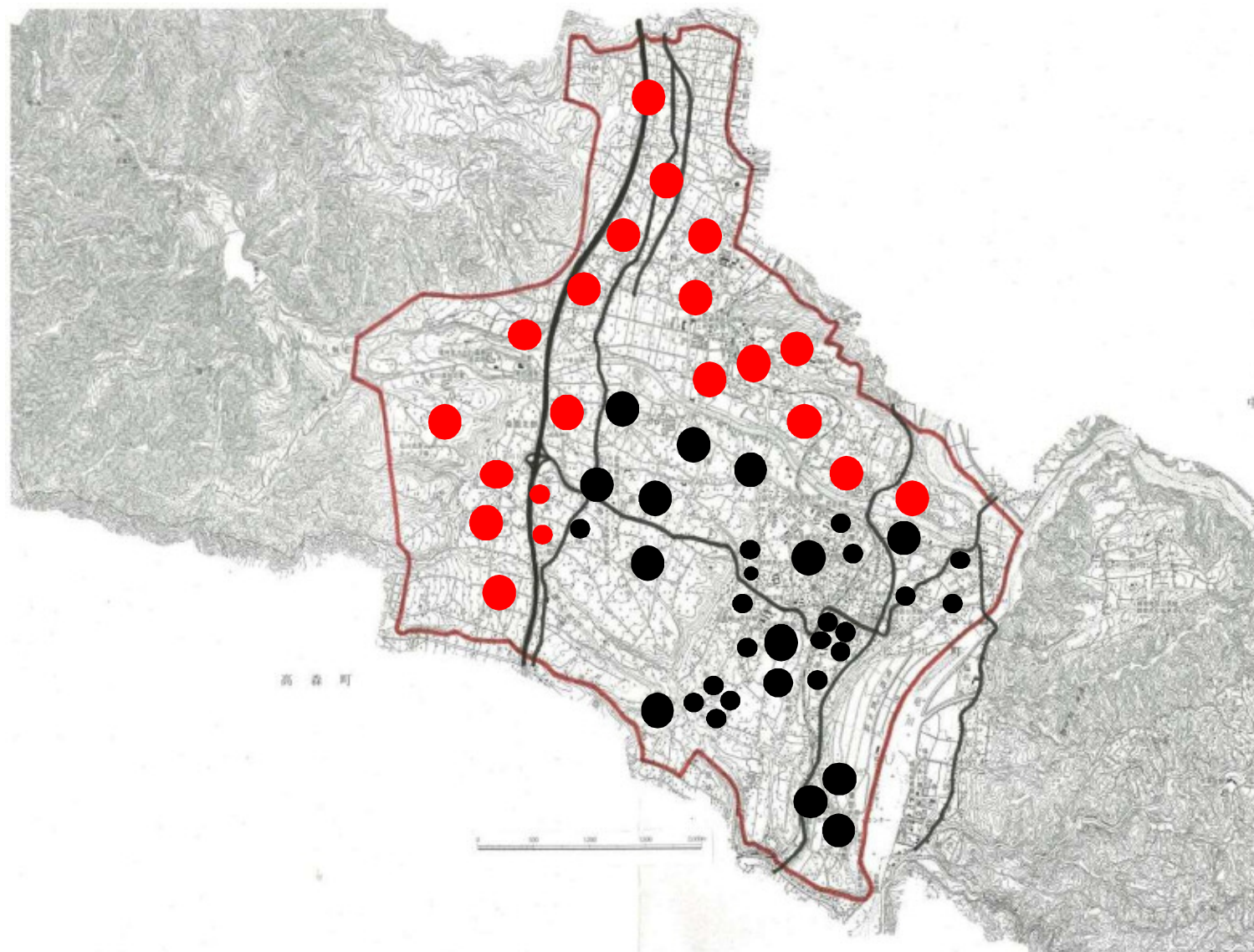
(事業概要)

松川町中央公民館は、築後40年が経過しており、利用ニーズ変化への対応や耐震補強の必要性が生じており、生涯学習環境の充実及び地域活性化の拠点施設として改築しようとするものです。

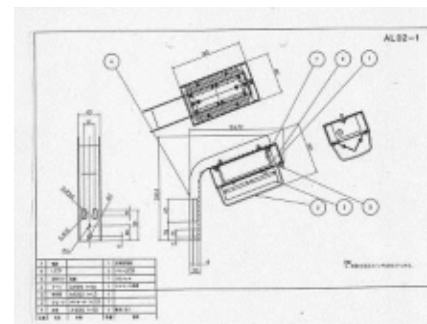
- 平成25年度事業計画
⇒ 測量設計業務委託
- 平成27~28年度事業計画
⇒ 改築工事

現況写真(正面玄関側より)





LED防犯灯設計図



[防犯灯LED改修]

計画区域内にある既設防犯灯について、LED改修を行う。

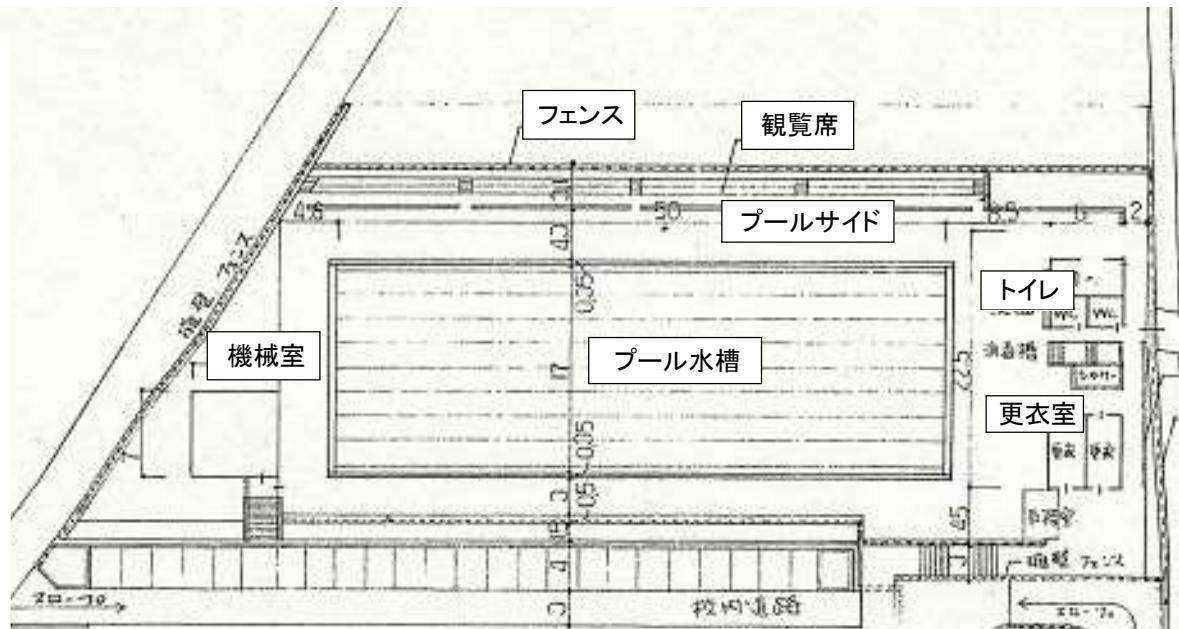
計画区域内54エリア
(N=454箇所)

● H24年度実施箇所
N=234箇所

● H25年度計画箇所
N=220箇所

(概要)

- ①機械室棟濾過装置改修
全自動型可逆式珪藻土濾過装置設置及び耐震補強改修一式
- ②更衣室棟耐震補強改修
耐震補強、バリアフリー化、建具の改修
- ③トイレ棟改修
耐震補強、バリアフリー化、衛生器具改修
- ④プール水槽塗装改修
水槽塗装1,094㎡
- ⑤プールサイド改修工事
プールサイド土間ゴムチップ舗装1,027㎡、飛込台改修、排水溝整備U字溝119m、観覧席モルタル塗装、アルミフェンス改修整備H=1.8m×170m)



①可逆式珪藻土濾過装置



②更衣室③トイレ



④プール水槽



⑤プールサイド改修



リフレッシュタウンまつかわの里

室内温水プールの現況



屋内スポーツ施設の現況



[リフレッシュタウンまつかわの里改修]

- 屋内スポーツ施設
音響設備整備 一式
屋内芝張整備 一式
- 室内温水プール
オゾン設備整備 一式

立面図



[地域交流センター(中央公民館)チャンネルYOU(ケーブルテレビ局)施設併設工事]

N=1棟
 1F 888.13㎡
 2F 760.88㎡
 3F 343.60㎡
 計 1,992.61㎡

(事業概要)
 松川町中央公民館の改築工事に伴い、住民から要望の強い、老朽化したチャンネルYOU(ケーブルテレビ局)施設(昭和46年2月建設)を併設することにより、生涯学習の拠点と合わせ、広く情報発信ができる施設として活用していきます。

- 平成25年度事業計画
 ⇒ 基本・実施設計業務委託
- 平成27～28年度事業計画
 ⇒ 改築工事

現況写真(正面玄関側より)



平面図

1F

凡例
 ■ チャンネルYOU



2F



3F



現況写真(建物裏側より)



農村観光交流センター みらい イベント支援

1. 企画運営主体

農村観光交流センター運営委員会 イベント実行委員会

○組織

- (1) 町長、副町長 (2) 町議会議長、産業建設常任委員長 (3) 町農業委員会
 (4) みなみ信州農業協同組合まつかわ地域事業本部理事、地域事業本部長
 (5) 町認定農業者連絡会長 (6) 若手農業者の代表 (7) 女性農業者の代表
 (8) 町商工会長 (9) 町観光協会宣伝部長

2. 目的

前期計画により観光拠点となる農村観光交流センターが整備されており、ソフト事業を展開させるとともに、イベント広場を併設して観光産業の一層の振興を図る。

- ・実行委員会方式とし、当面事務局は産業観光課内に置き、本計画期間中において、実行委員会主催のイベント開催等活動を支援し、定着を図る。
- ・地域の特産品を幅広く周知させるため、イベント広場を併設して、観光拠点として一層の活用を図る。
- ・将来的には、住民主体(NPO等)による運営へとつなげる。

3. 事業内容

- (1) 観光農業及び農業体験の推進
 (2) 他地域住民との交流及びイベントの開催
 (3) 町観光総合案内及び広域観光案内に関する、宣伝、PR、イベントの開催に係る活動費を補助し、支援する。
 (4) イベント広場を併設する。

○イベント

- ・なし祭りやふじまつりなどイベント開催補助
- ・くだもの里まつかわロードレース大会など地区の特徴を生かしたイベント共催補助

○イベント広場整備利用計画

【概要】仕様：幅18.2m 奥行き10m(5m下屋)

内容：給排水施設・調理台付スペース、直売スペース、休憩スペース、トイレ

【実施事業】各種イベントの開催(体験・展示会等)、特産品等の販売、憩いの場等

【開設日】週末及び行楽シーズン(不定期)

【利用者】個人、なかよし直売、山都、くだもの観光協会、ロードレース等実行委員会

イベント開催の様子(平成25年度)



農村観光交流センターみらいの現況



■イベント支援 計画期間

H24年度～H28年度(5箇年計画)

■イベント支援 事業費

C=5,000,000円(1,000,000円/年間)

■イベント広場整備 一式

C=30,000,000円(設計委託費1,000千円、工事費29,000千円)

◆H28年度 事業(2,000千円)

◎案内コースマップ:5,000部 ◎観光チラシ作成:20,000部

◎観光パンフレット作成:10,000部

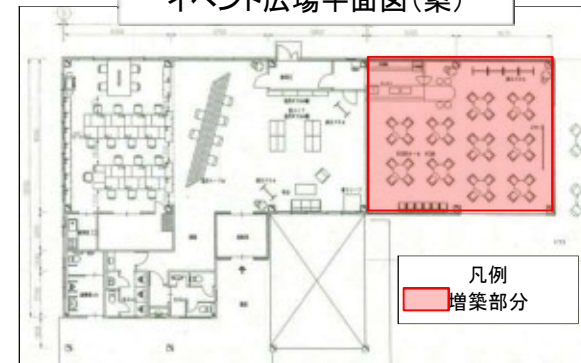
◎イベント広場整備工事(設計委託)

◆H29年度 事業(29,000千円)

◎イベント広場整備工事 一式



イベント広場平面図(案)



センター施設必要性(既存建造物活用)

様式5

都道府県	長野県	市町村	松川町
地区名	松川地区		
センター施設の名称	地域交流センター(中央公民館)		
事業費(百万円)	682.7	延べ床面積(㎡)	1,992.10㎡の内1,678.49㎡
事業期間	H27～H28		
年度計画(百万円)	H27:260.4(継続費) H28:409.1(継続費)		
事業の熟度	実施設計済	改修等	○ 購入
従前施設の主な用途	社会教育施設(公民館)		
従前施設の建設年	昭和46年		
従前施設の耐震性能	平成20年度に耐震診断を実施した結果、構造耐震判定指標の安全基準を下回ったため、本事業を実施する。		
新施設の主な用途	<ul style="list-style-type: none"> ・位置付け: 第4次松川町総合計画後期基本計画に掲載 ・役割: 生涯学習・社会教育の拠点 ・用途: 公民館 ・施設構成概要: 学習室、調理室、印刷室、製本会議室、教育相談室、多目的ホール 		
維持管理費(人件費含む)	5,000千円/年		
支援対象	学習室 6部屋(内1部屋は子育て交流室を兼ねる)、調理室、印刷室、製本会議室、教育相談室、多目的ホール		
ハコモノ要件		①維持管理費を算出し国に提出している	
		②郊外からの移転・統廃合・他施設との合築・公共施設等総合管理計画策定	
		③三位一体改革で税源移譲対象となっていない	
		④他省庁の補助制度がない	
	○	⑤経過措置適用	
必要性等	<p>中央公民館は、社会教育法第5章に基づいた松川町の生涯学習・社会教育の中核的な拠点であり、不可欠な施設である。既存施設は平成20年度に実施した耐震診断結果が構造耐震判定指標の安全基準を下回ったため、松川町では、施設を利用する住民の安全を確保することが困難であると判断した。今回の整備にあたり、既存施設の補強か改築かを検討委員会を立ち上げ住民と共に検討し、改築と決定した後はワークショップ委員会、建設委員会を立ち上げ住民とのコンセンサスをはかり、パブリックコメントを行うなどして整備計画を策定してきた。この事業は、地域住民にとって大きな夢の実現である。</p>		
利用見込み	<p>既存の中央公民館の利用数は、年間約1,500団体、約30,000人である。公民館の利用は、ここ近年、ほぼ横ばい状態であるので、年間約30,000人の利用を見込む。加えて、今回の整備では、防音設備を施した学習室も計画しており、比較的公民館の利用が少ない若者たちにも気軽に使えるよう配慮されている。また、町の情報発信の拠点であるCATV局(チャンネル・ユー)を併設することにより、更に利用増が期待できる。</p>		
年間	32,000	人	

センター施設必要性(既存建造物活用)

様式5

都道府県	長野県	市町村	松川町
地区名	松川地区		
センター施設の名称	地域交流センター(株式会社チャンネル・ユー)		
事業費(百万円)	121.4	延べ床面積(㎡)	1,992.10㎡の内314.12㎡
事業期間	H27～H28		
年度計画(百万円)	H27:54.6(継続費) H28:66.6(継続費)		
事業の熟度	実施設計済	改修等	○ 購入
従前施設の主な用途	ケーブルテレビ局		
従前施設の建設年	昭和46年		
従前施設の耐震性能	平成22年度に松川町簡易耐震診断を実施した結果、構造耐震判定指標の安全基準を下回る。松川町中央公民館と併設後は解体。		
新施設の主な用途	松川町情報発信新拠点としての(株)チャンネル・ユー(放送センター)の整備		
維持管理費(人件費含む)	52,000千円/年		
支援対象	放送スタジオ、副調整室(サブスタジオ)、編集室、録音室、サーバ室、会議室、事務所、倉庫		
ハコモノ要件		①維持管理費を算出し国に提出している	
		②郊外からの移転・統廃合・他施設との合築・公共施設等総合管理計画策定	
		③三位一体改革で税源移譲対象となっていない	
		④他省庁の補助制度がない	
	○	⑤経過措置適用	
必要性等	株式会社チャンネル・ユー(放送センター)の既存施設は昭和46年築と老朽化が進み、平成22年の耐震診断では構造耐震判定指標の安全基準を下回る結果となった。株式会社チャンネル・ユー(放送センター)は松川町をエリアとする公共性の高いマスメディアであり、耐震基準を満たす、新たな松川町中央公民館と併設することにより、今後想定される大地震等にも地域住民に向けた情報発信が継続できる。また、町の情報発信の新しい拠点となり、住民へのメディア文化の醸成や公民館活動の情報発信の容易化が期待できる。		
利用見込み	施設併設の相乗効果による来客数の増加が見込め、さらにオープンスタジオ等、メディア発信の中核設備や番組制作の手法や技術などを見学でき、学校教育や情操教育の場としても活用が可能である。公民館活動の情報発信を担うことで、幅広い年齢層の人々が集える施設となることが見込める。		
年間	32,000人		